日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）

電話｛（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

95.3.6 No. 4154

復旧を口実に有事体制づくりへ！許すな

労働者の力で被災者守ろう

村山政権、行政当局の被災者見殺しに怒りは高まる！

阪神大震災の被災地では、一ヵ月を経た今でも、二十一万人の人々（ほとんどが労働者）が避難所生活を強いられている。現地では住宅問題、医療問題に加え失業攻撃が加重されるなど、まさに極限状態の中で生きぬくための必死のたたかいがつづけられている。

しかるに村山政府、行政当局は、被災者救援を事実上「放棄」し、「復興」の名による大資本へのテコ入れと「危機管理」の名のもとに有事体制・戦時体制の確立にむけた攻撃をつよめている。また連合は、こうした支配階級の攻撃の先兵となっている有様である。断じて許してはならない。

我々に求められているのは、絶望的状況の中にありながらも共に助合いながら生きるために懸命にたたかっている労働者・仲間たちを労働者の力で救援すること。そして、非情・冷酷にも被災者を見殺しにしている政府、「震災特需」に群がる大資本をこんりんざい許さない決意を打ち固めることである。

中小零細「震災失業者」

震災から1カ月なのに住民の生活は……

「職安で相手にされない」

不屈に起ちあがる阪神の仲間たち

2/20 毎日（朝）

雇用保険の給付求め集会 悲痛な叫び次々

震災で大きな被害を受けた神戸市長田区の長楽公園に百人を超える失業者が集まった。地元労組が呼びかけた「被災地雇用保険給付要求者組合」の結成準備会。大震災による失業者は五万～六万人。大企業ではなくほとんどが中小零細企業に勤める人たちで、当面の雇用保険の支給を受けることさえできない人も多い。この日自宅が焼れて少しでも収入が欲しいのに」と口々に窮状を訴えた。株式会社ニッポンのもうさかのぞく

被災地雇用保険給付要求者組合の結成準備会で真剣に話を聞く失業者たち＝神戸市長田区の長楽公園で19日午後2時すぎ

新長田駅前で勤めていた間下紀雄さんは「つぶれて、会社がどうなったか死活問題。一番わからない。かんったは職安に行ってもないことばかり。菊水区子供町一丁目十八番の元長田子ども会館の一室。五日前の、二月一日に、十七日の開場。二月一日に出たのは五万円ほどと男たちにくれみ。長田区周辺にシューズ関連を中心に人企業が多く、雇用主が軒一

用保険に入っていない例が多い。給付要求者組合を呼びかけた関西合同労組兵庫支部では、五日から同公園で労働相談を受けていたが、七割が保険に入っていない、という。

関西合同労組を結成し闘う仲間たち

闘いの中心に交流センターの仲間が

大震災 身をたぎるか！

雇用保険の給付などについて労働相談が行われる（長田区・長楽公園）

被災地兵庫をはじめ、関西の労組交流センターは、自ら被災しながらも、どこにも行き場のない労働者二十数万の中に分け入れ、労働者の生活、権利、安全を守るため、なによりも失業の危機にさらされている多くの労働者を組織するために全身全霊をうちこんで闘いぬいている。この仲間たちに続こう。

二月五日・関西労組交流センターが「兵庫震災現地労働対策本部」を設置し、長田区長楽公園にテントを設営し、地元弁護士の協力をえながら労働相談など本格的活動に突入。

同日・「関西合同労組」（遠水委員長）を結成。

二月九日以降・職安交渉、県労働部交渉、ダイエーとの団交、抗議行動。

二月十九日・「被災地雇用保険要求者組合」（仮称）の準備会に百人以上の失業した労働者が集まり、真剣な討論と連帯がつくりだされた。

また部落解放同盟全国連は西宮市芦原地域を中心に炊き出し等々、連日の救援に起つ。さらには婦人民主クラブ関西協、関西実行委員会も連日連夜の救援活動に総力たちあがっている。

われわれの成すべきことは、現地の仲間たちの闘いをしっかりと受けとめ救援大カンパ（金、物資）を持続、強化させることである。青年部街頭行動第一弾に全体がつづこうではありませんか。